

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	②水道分野及び土木建築分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○土木建築分野における技術交流・技術協力及び国内外の建設産業の人材育成
主な取組	途上国等の行政職員へ向けた講義の実施		対応する成果指標	水道分野及び土木建築分野等における研修受講人数
施策の方向	<p>・土木建築分野においては、JICA沖縄との連携による建設技術やインフラ整備等に関する研修等に取り組み、技術交流・技術協力及び国内外の建設産業の人材育成を促進します。また、国や関係団体等と連携した県内企業向けセミナー等に取り組み、島しょ性・亜熱帯性等の地域特性により培われてきた技術等の海外展開を促進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
技術交流・技術協力および国内外の建設産業の人材育成の促進を図るため、途上国等の行政職員へ向けた講義等の取組を実施する	県,JICA沖縄	JICA沖縄が実施する研修へ県職員を講師派遣			
		土木建築分野の研修等における講義件数(累計)			
		3件	3件(6件)	3件(9件)	
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課		【 098-866-2384 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	その他			—	その他	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年9月6日から11月7日まで行われた2022年度JICA課題別研修「道路維持管理 (C) コース」での講師派遣の実施。				令和4年度実施の研修と同様の研修での講師派遣の実施。		

活動指標名	土木建築分野の研修等における講義件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-件	-件	4件	3件	100.0%	順調	令和4年9月6日から11月7日の期間でJICA沖縄が実施した2022年度JICA課題別研修「道路維持管理 (C) コース」において、「沖縄の保有技術紹介」ほか3件の講義を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

2022年度JICA課題別研修「道路維持管理 (C) コース」は、カンボジア、パラオ、サモア、スリランカ、東ティモールの計5カ国からの行政職員7名が参加した研修である。同研修で、「沖縄の保有技術紹介」ほか3件を含む計4件の講義に講師として県職員を派遣したことから、取組は順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義等の研修内容の充実を図るため、JICA沖縄や関係機関等との事前調整を繰り返し行い、必要となる研修生や研修手法等に関する情報収集に努めた。</li> <li>本県の地域特性により培われてきた技術等の周知を図るため、離島架橋等の建設記録動画等が公開されている本県公式YouTubeチャンネルを紹介した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和4年度の進捗状況が順調であることから、取組に対するさらなる効果の発現を促すべく、JICA課題別研修「道路維持管理(C)コース」とは別の新たな研修の構築等、活動内容の拡充の検討をする。	② 連携の強化・改善	新たな研修の構築等に向けて、JICA沖縄との連携の強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	②水道分野及び土木建築分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○土木建築分野における技術等の海外展開の促進
主な取組	研修等による知見の普及拡大		対応する成果指標	水道分野及び土木建築分野等における研修受講人数
施策の方向	<p>・土木建築分野においては、JICA沖縄との連携による建設技術やインフラ整備等に関する研修等に取り組み、技術交流・技術協力及び国内外の建設産業の人材育成を促進します。また、国や関係団体等と連携した県内企業向けセミナー等に取り組み、島しょ性・亜熱帯性等の地域特性により培われてきた技術等の海外展開を促進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
島しょ性・亜熱帯性等の地域特性により培われてきた技術の海外展開の促進を図るため、県内建設企業向けの研修等による海外展開に向けた知見の普及拡大の取組を実施する	県関係団体	県内建設企業向けの研修等の開催			
		海外展開に向けた研修等の開催件数(累計)			
		1件	1件(2件)	1件(3件)	
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課		【 098-866-2384 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	その他			主な財源	実施方法	当初予算額
				—	その他	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和5年1月26日および27日で行われた沖縄インフラツーリズム研修の実施。				令和4年度実施の研修と同様の研修の実施。		

活動指標名	海外展開に向けた研修等の開催件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	1件	1件	100.0%	順調	令和5年1月26日および27日でJICA沖縄が主催し、本県が共催して実施した沖縄インフラツーリズム研修において、県内建設企業が参加する研修を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄インフラツーリズム研修は、JICA長期研修員（各国の政府機関建設技術者・大学研究者等）と（社）沖縄県測量建設コンサルタント協会および沖縄県技術士会会員の人的・技術的ネットワーク構築を支援することを目的とした研修である。同研修で、講義と「観光資源としての沿道景観計画」「離島架橋整備計画」をテーマとした現場視察、ワークショップ・交流会等の研修開催を実施したことにより、取組は順調と判定した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義等の研修内容の充実を図るため、JICA沖縄や関係機関等との事前調整を繰り返し行い、必要となる研修生や研修手法等に関する情報収集に努めた。</li> <li>・ 本県の地域特性により培われてきた技術等の周知を図るため、離島架橋等の建設記録動画等が公開されている本県公式YouTubeチャンネルを紹介した。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和4年度の進捗状況が順調であることから、取組に対するさらなる効果の発現を促すべく、沖縄インフラツーリズム研修とは別の新たな研修の構築等、活動内容の拡充の検討する。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	新たな研修の構築等に向けて、県内建設企業からなる関係団体との連携の強化を図る。